



# 小千谷市立 総合支援学校 進路だより

No. 6 (R5/2/7)

〒949-8721  
小千谷市大字塩殿甲 2144 番地  
TEL 0258-82-1878

## 小学部・中学部 進路希望調査の結果 報告

進路希望調査へのご協力、ありがとうございました。結果は以下の通りです。

		小学部 1～3年生	小学部 4～6年生	中学部 1～3年生	合計 (33名)
高等部卒業の年		9～11年後	6～8年後	3～5年後	3～11年後
就 労 先	就労移行支援	1	3	2	6
	就労継続支援 A 型	1	1	0	2
	就労継続支援 B 型	3	1	1	5
	自立訓練	1	1	1	3
	生活介護	0	0	4	4
	企業就労	1	0	1	2
未定		7	2	2	11
住 居	自宅 (期限なし)	2	3	1	6
	概ね 30 歳までに※自宅以外	9	4	6	19
	未定	3	1	4	8

※自宅以外…宿泊型自立訓練、グループホーム、アパート、入所施設をまとめています。

○高等部以降の人数について

高等部入学時には他の中学校からの入学者が一定数見込まれるため、ひと学年あたりの人数が増えます (例年 2～7 名程度です)。これに伴い就労移行、B 型、企業就労の希望者数は最終的に増えると考えられます。



## ～進路希望調査の結果を受けて～

### 【家庭生活からの自立について】

- 33 名中 19 名のご家庭が、概ね 30 歳までに自宅以外の生活をご希望されています。
- ・アパートでの一人暮らしは費用がかかることと支援が受けにくいことから、なかなか実現できない状況があります。
- ・宿泊型自立訓練 (2 年間の期限付き) や入所施設 (期限なし。障害支援区分 4 以上が必要) は現在市内にはありませんので、市外で探すことになります。高等部卒業と同時に宿泊型自立訓練での生活を始めた方もいます。
- ・市内でアパート以外の自立生活を希望すると、「グループホーム」への入居が最も現実的な選択となります。
- ・昨年 12 月、新たに『グループホーム第 2 小千谷さくら』(管理: ワークセンター小千谷さくら) が開所しました。同時に『同朋』(管理: ひかり工房) は閉所になりました。

○アパートとグループホームの生活 比較表

	アパート (一人暮らし) 	グループホーム	
		グループホーム第 2 小千谷さくら (一般的なグループホーム) 	ソーシャルインクルー長岡西津町 (支援の手厚いグループホーム) 
特徴	・食事、金銭管理等生活全般を自分で行います。 	・朝、夕の食事あり ・計画に基づいた金銭管理、家事、健康管理、その他諸々の相談等の支援が受けられます。 	・朝昼夕の食事あり ・左記の特徴に加え、24 時間職員が在中し重度障害者に対応します。入浴支援も受けられます。 
ひと月あたりの生活費 (家賃、食事、光熱水、日用品等)	約 11 万円～ …家賃 5 万円として	約 5～6 万円 …家賃は 1 万 8 千円 (※助成金 1 万円を利用した場合)	約 8～9 万円 …家賃は 3 万 2 千円 (※助成金 1 万円を利用した場合)

- ・入所施設は需要に対して空きが少なく、順番待ちになると考えられます。空き情報については担当の相談支援専門員から確認してもらうことができます。希望者の事情によって入所の優先順位は変動しますので、なるべく具体的なニーズ (希望する年齢、理由、探す地域、必要な支援法等) を相談員へ伝えることが大切です。



## 【進路選択の時期について】

- 「進路選択について、理想的な進路と現実的な進路が現状一致しません。いつまでに考えればよいでしょうか？」というご質問をいただきました。
- ・当校での進路選択の決定は「**高等部 2 年生の 3 学期末までが目安**」とお考え下さい。高等部 3 年生の前期には「実際に就労を希望する事業所での職場実習」を行うからです。7 月末には実習先より「卒業後の受け入れの可否」を知らせていただきます。この時点で進路が決まらない場合は、後期実習での決定を目指すことになります。

## 【進路選択に迷ったら】

- ・実際の進路選択となると、業種やサービスの違いで迷われる場合が少なくありません。そこで、過去の実例をもとに掘り下げて考えてみます。



### ○「企業就労」と「福祉就労」で迷う場合

- ・この場合は、「就労移行支援」や「就労継続支援 A 型」事業所での職場実習をお勧めします。これらの事業所では企業就労を目指した訓練を行っていますので、実習の評価がそのまま「企業実習に挑戦できる段階か否か」を判断するために有効な資料となります。

### ○企業就労の条件とは？

- ・「企業採用の条件」は、企業によって決まります。一律の基準はありません。
- ・これまでの卒業生の採用事例から、「**採用の必須条件**」として考えられるものは次の①②です。
- ①**一人でも安全な行動ができる。**  
→ルールを守れること、危険が分かることです。**最も重要な条件**です。
- ②**最低賃金（新潟県は時給 890 円）以上の成果を上げることができる。**  
→給与分以上の実務能力があるということです。
- ・さらに、「企業によっては**必須ではないが**、あると採用されやすい条件」③④⑤を例外とともに挙げます。



#### ③**自力で通勤できる。**

→公共交通機関の利用、徒歩、自家用車（免許取得）等、手段は様々ですが自力通勤は基本です。  
(例外) 社員送迎車で通勤させていただける企業もありました。

#### ④**理解力がある。**

→一人で複数の業務を掛け持ちしている卒業生もいらっしゃいますし、企業内に達成基準（入社後〇ヶ月以内に検定をクリアする等）があり、定期的にチェックを受ける方もいました。  
(例外) 一つの仕事を覚えてひたすらコツコツ続けている方もいます。求められる理解力は業務内容によって大きく異なります。

#### ⑤**周囲へ良い影響を与える**（表情が良い、意欲が感じられる、挨拶がよい、礼儀正しいなど）

→この条件のみで採用されることはありませんが、これらの強みをもってると現場で好意的に関わっていただけます。離職原因は対人トラブルが多いので、他者と上手にコミュニケーションが取れることは大切です。  
(例外) 「一切声を出さない」という方で、企業就労できた例があります。笑顔による印象の明るさと実務能力の高さがあり、会話が必須とならない職場で活躍しています。

### ○「就労継続支援 B 型」と「生活介護」で迷う場合

- ・「就労継続支援 B 型」は最も多く事業所（市内 5 事業所）で提供されるサービスです。**事業所ごとに作業内容と環境が異なります**ので、B 型の利用を目指す場合、実習や見学を通して**事業所同士を比べ**、自分に合う条件で絞り込んでいきます。もちろん事業所に合わせて本人が成長することや支援方法を確立することも大切です。
- ・「生活介護」は市内では 3 事業所が提供しています。その内の 2 事業所は「共生型」といい、高齢者施設と一緒に活動することになります。よって突発的な行動（衝突や転倒につながるもの）がある方は利用しにくい状況です。
- ・**B 型か生活介護か迷う場合、「利用時間中、作業を継続できるかどうか」ということを一つの目安としてお考えください。**  
→B 型は「働く場所」ですので、**利用時間中は基本的に作業を行います。**  
「一日の中で働きたい時間だけ作業し、残り時間は休憩する」という利用は難しいです。  
→一方、**生活介護**は活動の中に「余暇」も含まれますので、一日利用の中で、作業と余暇的な活動が半々になるイメージです。B 型に比べ、利用者数に対する職員数が多くなります。



## 【進路指導部より】

### ○「高等部卒業時の進路＝一生の就業先」ではありません

- ・卒業後も転職は訪れます。ご本人やご家族の変化だけでなく、事業所の事情や法律の改正によっても就業先は変わっていきます。そんな中、**私たちにできるのは「卒業時点でのベストな選択を目指すこと」**です。
- ・**大切なのは、支援チームとの関わりを途切れさせないこと**です。支援チームは高等部卒業に合わせて組織します。転職が訪れた時、ご本人と情報を共有し一緒になってベストな選択を考えてくれるチームがあれば、良いアドバイスを受けることができます。
- ・たとえ卒業後の生活が安定していても、相談先は常に確認できるようにしてください。



### ○自己決定を支持したいと思います

- ・実際の進路選択には様々な制約があります。通えるのか、できる仕事なのか、周囲と関われるのか、定員は大丈夫か…自己決定といっても、自分の都合だけで選べることは少ないといえます。当然葛藤も多いと思います。
- ・**日々の学習と職場実習を積み重ねることで、生徒は進路を選択できるようになります。**現実と向き合い、努力し、折り合いをつけた上での選択です。
- ・本人の自己決定が支援者の意図と一致しないことはあります。しかし本人の頑張りが背景にある選択ならば、可能な限り支持します。その後もし変更があっても、自己責任だからと言って突き放したりせず、再び一緒に考えていきます。
- ・生徒には**自分の意思を発信できる大人になってほしい**ので、今後もこのような関わりを続けていきたいと思います。

～お問い合わせ、ご相談等ございましたら、いつでもご連絡ください～



〒949-8721  
新潟県小千谷市大字塩殿甲 2 1 4 4 番地  
小千谷市立総合支援学校 進路指導主事（松川正太郎）  
TEL 0258-82-1878  
E-mail sogosien@ojiya.ed.jp

